



2018年9月26日

各位

会社名 マックスバリュ中部株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 芳知  
 (コード番号: 8171 名証第2部)  
 問合せ先 取締役兼常務執行役員管理本部長 望月 俊二  
 (TEL 052-857-0719)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年4月11日に公表しました2019年2月期第2四半期累計期間の業績予想を、下記のとおり修正しますのでお知らせします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

(金額の単位: 百万円)

2019年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2018年3月1日~2018年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	89,300	1,320	1,340	650	20円65銭
今回修正予想 (B)	89,368	1,297	1,468	891	28円30銭
増減額 (B-A)	68	△23	128	241	
増減率 (%)	0.1	△1.7	9.6	37.1	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年2月期第2四半期)	89,029	1,267	1,336	830	26円25銭

## 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、愛知県名古屋市に1店舗、中国に1店舗を新規出店するとともに既存店の改装を実施、販売促進の強化や価格訴求の実施等営業力・商品力の強化に取り組み、既存店売上高は前年同期比100.5%と概ね計画通りに推移しました。一方、連結子会社については、永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司において1店舗閉店したことに伴う退店補償金を営業外収益に計上したことより、経常利益、四半期純利益は計画を上回りました。デリカ食品株式会社は概ね計画どおり推移しました。

以上の結果、営業収益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益が当初予想を上回る見込みとなり、2019年2月期第2四半期(累計)の連結業績予想を修正いたします。

## 3. 通期の業績予想

通期の業績予想につきましては、2018年4月11日に公表しました業績予想に変更はございません。第3四半期以降についても、業種業態を越えた競争は一層激しさを増していくと予想されます。第3四半期及び売上高・利益構成比の大きい第4四半期においても、売上高および客数の拡大を図るとともに、収益構造改革によるコスト削減にも、継続して取り組んでまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上